

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)一宮市第1共同調理場	階数	地上2階
建設地	愛知県一宮市浅井町東浅井字大島1547番2地	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	80人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年11月22日
敷地面積	7,532 m <sup>2</sup>	作成者	(株)総企画設計名古屋支店 保崎
建築面積	3,426 m <sup>2</sup>	確認日	2022年11月22日
延床面積	4,634 m <sup>2</sup>	確認者	(株)総企画設計名古屋支店 犬飼



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)												
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p>	<p>★★★★★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>46</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>92</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>138</td> <td>96%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )	100%	②建築物の取組み	46	96%	③上記+②以外の	92	96%	④上記+	138	96%	
①参照値	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )	100%												
②建築物の取組み	46	96%												
③上記+②以外の	92	96%												
④上記+	138	96%												

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.2</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.3</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.2</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.2</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.1</p>

3 重点項目					
<p>①地球温暖化への配慮 <b>3.1</b></p>	<p>③敷地内の緑化 <b>2.0</b></p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>11.4 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	11.4 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	11.4 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<p>②資源の有効活用 <b>3.2</b></p>	<p>④地域材の活用 <b>1.0</b></p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

$$\text{外構緑化指数} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指数} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$$



スコアシート		実施設計段階		独自基準		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体		
配慮項目	重点項目			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>																
<b>Q1 室内環境</b>																
<b>1 音環境</b>																
1.1 室内騒音レベル																
1.2 遮音																
1 開口部遮音性能																
2 界壁遮音性能																
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																
1.3 吸音																
2 温熱環境																
2.1 室温制御																
1 室温																
2 外皮性能																
3 ゾーン別制御性																
2.2 湿度制御																
2.3 空調方式																
3 光・視環境																
3.1 昼光利用																
1 昼光率																
2 方位別開口																
3 昼光利用設備																
3.2 グレア対策																
1 昼光制御																
3.3 照度																
3.4 照明制御																
4 空気質環境																
4.1 発生源対策																
1 化学汚染物質																
4.2 換気																
1 換気量																
2 自然換気性能																
3 取り入れ外気への配慮																
4.3 運用管理																
1 CO <sub>2</sub> の監視																
2 喫煙の制御																
<b>Q2 サービス性能</b>																
<b>1 機能性</b>																
1.1 機能性・使いやすさ																
1 広さ・収納性																
2 高度情報通信設備対応																
3 バリアフリー計画																
1.2 心理性・快適性																
1 広さ感・景観 (天井高)																
2 リフレッシュスペース																
3 内装計画																
1.3 維持管理																
1 維持管理に配慮した設計																
2 維持管理用機能の確保																
<b>2 耐用性・信頼性</b>																
2.1 耐震・免震・制震・制振																
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																
2 免震・制震・制振性能																
2.2 部品・部材の耐用年数																
1 躯体材料の耐用年数																
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																
6 主要設備機器の更新必要間隔																
2.4 信頼性																
1 空調・換気設備																
2 給排水・衛生設備																
3 電気設備																
4 機械・配管支持方法																
5 通信・情報設備																



重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>			<b>3.1</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.1	0.10
<b>② 資源の有効活用</b>			<b>3.2</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.09
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.2	0.19
<b>③ 敷地内の緑化</b>			<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.11
			外構緑化:11.4%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	「安全・安心で、おいしい給食が提供できる施設」 「食育推進の中核施設としての機能が発揮できる施設」 「周辺地域や地球環境にもやさしい施設」 の3点を基本方針とし、建物の省エネ性や環境負荷に対して配慮した、衛生的かつ機能的で地域に親しまれる調理場を計画する。
Q1 室内環境	建物利用者が快適に施設を利用できるよう配慮した設計とする。 玄関吹き抜け上部に七夕の吹き流し飾りを設置し、華やかな装飾とすることでエントランスに一宮らしい彩りを持たせる計画とする。
Q2 サービス性能	建物の機能維持管理がしやすい計画とする。
Q3 室外環境(敷地内)	住宅地側となる敷地境界には植栽帯を設け、施設の圧迫感を低減する計画とする。また、屋上機械設備は目隠しルーバーで覆い、周辺からの景観に配慮する。
LR1 エネルギー	効率の優れた設備機器を導入し、建物のエネルギー消費量を削減する。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を使用し、資源の削減を図る。
LR3 敷地外環境	一宮市雨水流出抑制基準により定められた雨水流出抑制施設を計画する。 浸透性舗装により雨水排出量を低減させるとともに、その不足分を地下貯留施設で貯留し、排水ポンプにて計画的に側溝に排出する計画とする。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。